

| 課程<br>専攻名  | 修士課程   |   |   | 専門職学位課程   |
|------------|--|---|---|---|
|            | 健康科学・看護学   | 国際保健学   | 医科学   | 公共健康医学  |
| 学位論文の名称    | 修士論文   |   |   | 課題研究論文  |
| 学位論文が充たす基準 | 健康科学看護学領域における研究活動を行っていく上での基礎的な能力が備わっていることを示すもの。  | 自立した研究者として最先端の国際的研究を遂行するための基礎的な能力が備わっていることを示すもの。                        | 基礎医学・生命科学の分野において自立した研究者として独創的な最先端の研究活動を行うために必要な基礎的な能力が備わっていることを示すもの。                                    | 公衆衛生領域における高度専門的な知識、技能及び基本的研究能力が備わっていることを示すもの。   |
| 審査委員の体制    | ・査読委員(2名)<br>・専攻により定められた教員(看護系教員、健康科学系教員)  | ・査読委員(2名)<br>・専攻により定められた教員  | ・査読委員(3人)<br>・専攻により定められた教員  | ・指導委員、査読委員(2名)を含む論文発表を聞いた全教員(講師以上)  |
| 審査の方法      | ・査読委員(2名)による査読。<br>・修士論文および専攻における論文発表会をもとに評価される。<br>・審査は合議による。   | ・査読委員(2名)による事前評価。<br>・専攻における論文発表会および修士論文によって評価される。<br>・審査は合議による。        | ・査読委員(3名)による査読。<br>・専攻における論文発表会での発表と質疑応答、修士論文によって評価される。<br>・審査は合議による。                                   | ・指導教員及び2名の査読委員を含む発表を聞いた全教員(講師以上)の評価を総合して行う。<br>・審査は合議による。   |
| 審査の項目      | 1. テーマの新規性・独創性・着眼性<br>2. 論理的(科学的)な思考能力<br>3. 方法(アプローチ)の妥当性<br>4. 結論のimplication・テーマの発展性<br>5. プレゼンテーション・質疑応答能力<br>6. 研究への貢献度<br>7. 論文の体裁 | 1. 研究テーマの重要度<br>2. 研究の独創性<br>3. 分析の妥当性<br>4. 学生の理解度と論理性<br>5. 論文の科学的表現力 | ・研究テーマの重要性、独創性<br>・方法の妥当性<br>・得られた成果の新規性<br>・結果の分析と考察の妥当性<br>・論文執筆、プレゼンテーション、質疑応答の能力<br>・研究者としての倫理観と責任感 | 1. テーマの新規性・独創性・実用性・有用性<br>2. 論理的(科学的)な思考能力<br>3. 方法(アプローチ)の妥当性<br>4. 結論のimplication・テーマの発展性<br>5. プレゼンテーション・質疑応答能力<br>6. 本人の貢献度<br>7. 文章・図表の完成度 |
| その他        |  |   |   | 課題研究論文は、標準修業年限2年コースの者のみ提出必須(1年コースの者は提出任意)。  |

| 課程         | 博士後期課程   |       | 医学博士課程   |
|------------|--|-------|--|
| 専攻名        | 健康科学・看護学   | 国際保健学 | 専攻共通   |
| 学位論文が充たす基準 | 保健学において高い学識を有するとともに研究者としての品格を備え、かつ将来的に自立した研究者として研究活動を行っていく能力が備わっていることを示すもの。  |       | 医学あるいは保健学において高い学識を有するとともに研究者としての品格と高度の倫理観を備え、かつ課程修了後に自立した研究者として研究活動を遂行する能力と責任感が備わっていることを示すもの。  |
| 審査委員の体制    | 研究科委員会で設置された審査委員会の構成員(5名)による審査。  |       |  |
| 審査の方法      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・審査委員会構成員(5名)による査読。</li> <li>・学位論文、審査委員会での発表内容、質疑応答をもとに評価。</li> <li>・審査は合議による。</li> </ul>   |       |  |
| 審査の項目      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・論文の学術的価値および完成度が高く、東京大学大学院医学系研究科にふさわしいものであること。</li> <li>・研究の背景と位置づけが十分に説明されていること。</li> <li>・研究に新規性と独創性があること。</li> <li>・研究方法およびデータ解析が妥当であること。</li> <li>・研究の倫理性に問題がないこと。</li> <li>・実験・データが質・量ともに充分であり研究結果が明確であること。</li> <li>・結果の解釈および結論が妥当であること。</li> <li>・議論が論理的で焦点が定まっていること。</li> <li>・博士課程修了後6ヶ月以内に厳正な査読を有する英文学術雑誌に投稿することが可能と判定されること。</li> </ul> |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた分析力や着想力に基づく学術的業績を有すること。</li> <li>学術的業績は、次にあげる具体的な基準に基づいて審査される学位論文によって評価される。</li> <li>- 論文の学術的価値および完成度が高く、東京大学大学院医学系研究科にふさわしいものであること。</li> <li>- 研究の背景と位置づけが十分に説明されていること。</li> <li>- 研究に新規性と独創性があること。</li> <li>- 研究方法およびデータ解析が妥当であること。</li> <li>- 研究の倫理性に問題がないこと。</li> <li>- 実験・データが質・量ともに充分であり研究結果が明確であること。</li> <li>- 結果の解釈および結論が妥当であること。</li> <li>- 議論が論理的で焦点が定まっていること。</li> <li>- 博士課程修了後6ヶ月以内に厳正な査読を有する英文学術雑誌に投稿することが可能と判定されること。</li> <li>・広い国際的視野と高いコミュニケーション能力を有すること。</li> <li>・医学の発展に寄与するリーダーとして能力を有すること。</li> </ul> |
| その他        |  |       | 外科学専攻については、「学位申請時、あるいは遅くとも学位審査時まで、査読制度のある英文雑誌に研究論文(症例報告を除く)を少なくとも1編発表していること、あるいは少なくともアクセプトされていること」も、学位授与の要件となる。  |